

定期作況報告（最終）

（第7号 平成20年11月20日現在）
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

《平成19年》

11月：平年に比べ最高気温は上、下旬が各々0.1、2.7 低く、中旬が1.0 高かった。最低気温は各旬とも各々1.7、1.5、2.7 低かった。平年に比べ降水量は上、中旬が各々15.5mm、14.9mm少なく、下旬が16.2mm多かった。日照時間は上、中旬が各々21.7時間、0.2時間多く、下旬が8.1時間少なかった。

12月：平年に比べ最高気温は上旬が0.5 低く、中、下旬が各々0.5、1.2 高かった。最低気温は上、中、下旬とも各々1.8、2.8、0.4 高かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々6.1mm、10.0mm、13.0mm少なかった。日照時間は上、中旬が各々11.6時間、2.6時間少なく、下旬が1.9時間多かった。

《平成20年》

1月：平年に比べ最高気温は上旬が0.7 高く、中、下旬が各々3.1、0.7 低かった。最低気温は上旬が2.9 高く、中、下旬が各々2.5、1.4 低かった。平年に比べ降水量は上旬、下旬が各々0.8mm、9.0mm少なく、中旬は3.6mm多かった。日照時間は上旬が11.8時間少なく、中、下旬が各々2.4時間、2.9時間多かった。

2月：平年に比べ最高気温は上、下旬が各々1.3、1.0 低く、中旬が1.3 高かった。最低気温は上、下旬が各々3.8、1.0 低く、中旬が2.3 高かった。平年に比べ降水量は上旬が12.7mm少なく、中、下旬が各々8.9mm、10.1mm多かった。日照時間は上旬が24.0時間多く、中、下旬が各々4.6時間、9.8時間少なかった。

3月：平年に比べ最高気温は各旬とも各々2.6、3.4、3.0 高く、最低気温は各旬とも各々2.5、4.6、1.8 高かった。平年に比べ降水量は各旬とも各々14.9mm、3.2mm、13.8mm少なかった。日照時間は各旬とも各々15.8時間、6.2時間、23.4時間多かった。

4月：平年に比べ最高気温は各旬とも各々4.4、4.6、4.4 高かった。最低気温は上、下旬が各々2.2、1.3 高く、中旬が0.2 低かった。平年に比べ降水量は各旬とも各々6.7mm、22.7mm、9.8mm少なかった。日照時間は上、下旬が各々3.2時間、4.2時間少なく、中旬が25.4時間多かった。

5月：平年に比べ最高気温は上旬が2.1 高く、中、下旬が各々が1.7、2.2 低かった。最低気温は上旬が1.5 高く、中、下旬が各々1.1、1.5 低かった。平年に比べ降水量は上、中旬が各々1.3mm、9.4mm少なく、下旬が11.3mm多かった。日照時間は上、下旬が各々13.6時間、5.6時間少なく、下旬が3.9時間多かった。

6月：平年に比べ最高気温は上旬が0.1 高く、中旬が1.4 低く、下旬が平年と変わらなかった。最低気温は上旬が1.3 高く、中、下旬が各々1.4、3.3 低かった。平年に比べ降水量は上、中旬が各々1.9mm、5.2mm多く、下旬が20.3mm少なかった。日照時間は上、中旬が各々4.4時間、6.4時間少なく、下

旬が30.1時間多かった。

7月：平年に比べ最高気温は上、下旬が各々4.2、0.2高く、中旬が1.7低かった。最低気温は上、中旬が各々3.2、0.4高く、下旬が1.0低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々29.0mm、28.5mm少なく、中旬が18.6mm多かった。日照時間は上、下旬が各々0.7時間、25.3時間多く、中旬が16.6時間少なかった。

8月：平年に比べ最高気温は各旬とも各々0.7、1.8、2.4低く、最低気温は各旬とも各々2.4、2.1、1.7低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々28.8mm、31.6mm少なく、中旬が0.1mm多かった。日照時間は上旬が24.4時間多く、中、下旬が各々6.4時間、1.9時間少なかった。

9月：平年に比べ最高気温は上、中旬が各々3.5、3.1高く、下旬が1.9低かった。最低気温は上旬が2.0高く、中、下旬が各々1.6、1.3低かった。平年に比べ降水量は各旬とも各々12.6mm、51.2mm、1.4mm少なかった。日照時間は上、中旬が各々18.5時間、31.9時間多く、下旬が9.7時間少なかった。

10月：平年に比べ最高気温は上旬が1.2低く、中、下旬が各々2.7、0.2高かった。最低気温は上、下旬が各々0.3、0.1低く、中旬が1.8高かった。平年に比べ降水量は上旬が5.2mm多く、中、下旬が各々17.2mm、0.9mm少なかった。日照時間は上、下旬が各々3.4時間、5.9時間少なく、中旬が6.9時間多かった。

根雪終は3月31日で、平年より12日早く、積雪期間は平年より3日短かった。耕鋤始は4月14日で平年より6日早かった。晩霜は5月14日で平年より2日遅かった（表1）。

平成19年11月から平成20年10月までの気象は表2の通りである。

表1 季節

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)
本年	10.15	10.13	11.15	3.31	137	4.12	4.14	5.14
平年	10.11	10.25	11.24	4.12	140	4.24	4.20	5.12
比較	4	12	9	12	3	12	6	2

注1) 本年は平成19～20年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。平年は過去10か年の平均値。

4) 印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	最高気温()			最低気温()			平均気温()			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2007 上	9.0	9.1	0.1	0.0	1.7	1.7	4.5	5.0	0.5	23.0	38.5	15.5	5	7	2	44.6	22.9	21.7
11 中	5.3	4.3	1.0	-3.1	-1.6	1.5	1.2	1.2	0.0	24.0	38.9	14.9	7	7	0	17.1	16.9	0.2
下	0.3	3.0	2.7	-6.1	-3.4	2.7	-2.6	-0.4	2.2	58.0	41.8	16.2	9	7	2	11.9	20.0	8.1
上	-2.3	-1.8	0.5	-6.2	-8.0	1.8	-4.3	-4.6	0.3	27.0	33.1	6.1	9	9	0	5.8	17.4	11.6
12 中	-2.1	-2.6	0.5	-6.4	-9.2	2.8	-4.2	-5.5	1.3	23.0	33.0	10.0	5	8	3	10.2	12.8	2.6
下	-2.6	-3.8	1.2	-11.0	-11.4	0.4	-6.2	-7.2	1.0	13.0	26.0	13.0	6	8	2	20.3	18.4	1.9
2008 上	-3.8	-4.5	0.7	-10.1	-13.0	2.9	-6.5	-8.3	1.8	23.0	23.8	0.8	10	7	3	8.7	20.5	11.8
1 中	-8.3	-5.2	3.1	-16.6	-14.1	2.5	-11.8	-9.1	2.7	20.0	16.4	3.6	8	6	2	26.0	23.6	2.4
下	-5.5	-4.8	0.7	-15.1	-13.7	1.4	-9.7	-8.7	1.0	13.5	22.5	9.0	3	6	3	36.4	33.5	2.9
上	-5.4	-4.1	1.3	-17.2	-13.4	3.8	-11.0	-8.2	2.8	5.5	18.2	12.7	2	6	4	57.3	33.3	24.0
2 中	-2.3	-3.6	1.3	-11.3	-13.6	2.3	-6.3	-8.0	1.7	28.0	19.1	8.9	6	6	0	31.5	36.1	4.6
下	-2.6	-1.6	1.0	-13.2	-12.2	1.0	-7.0	-6.7	0.3	26.0	15.9	10.1	6	4	2	29.1	38.9	9.8
上	1.8	-0.8	2.6	-8.4	-10.9	2.5	-2.9	-5.4	2.5	5.5	20.4	14.9	2	6	4	61.3	45.5	15.8
3 中	4.8	1.4	3.4	-3.3	-7.9	4.6	0.8	-2.8	3.6	14.0	17.2	3.2	3	6	3	45.9	39.7	6.2
下	6.8	3.8	3.0	-2.8	-4.6	1.8	1.5	-0.3	1.8	0.5	14.3	13.8	0	5	5	72.7	49.3	23.4
上	10.8	6.4	4.4	-0.9	-3.1	2.2	4.4	1.8	2.6	8.0	14.7	6.7	2	4	2	48.3	51.5	3.2
4 中	15.1	10.5	4.6	-0.1	0.1	0.2	7.4	5.2	2.2	0.0	22.7	22.7	0	4	4	73.8	48.4	25.4
下	17.3	12.9	4.4	2.8	1.5	1.3	9.9	7.2	2.7	8.0	17.8	9.8	2	3	1	44.7	48.9	4.2
上	17.7	15.6	2.1	4.7	3.2	1.5	11.3	9.3	2.0	36.0	37.3	1.3	4	4	0	41.9	55.5	13.6
5 中	16.6	18.3	1.7	5.0	6.1	1.1	10.5	12.1	1.6	12.0	21.4	9.4	2	4	2	58.4	54.5	3.9
下	18.2	20.4	2.2	6.6	8.1	1.5	12.2	14.1	1.9	40.5	29.2	11.3	4	4	0	53.1	58.7	5.6
上	21.6	21.5	0.1	10.8	9.5	1.3	16.0	15.3	0.7	22.5	20.6	1.9	3	3	0	54.9	59.3	4.4
6 中	21.5	22.9	1.4	10.3	11.7	1.4	15.8	17.1	1.3	24.5	19.3	5.2	6	3	3	43.0	49.4	6.4
下	24.0	24.0	0.0	9.8	13.1	3.3	16.2	18.3	2.1	5.0	25.3	20.3	1	3	2	83.0	52.9	30.1
上	28.5	24.3	4.2	17.2	14.0	3.2	22.4	18.8	3.6	7.0	36.0	29.0	2	3	1	44.1	43.4	0.7
7 中	23.9	25.6	1.7	16.0	15.6	0.4	19.3	20.1	0.8	71.5	52.9	18.6	3	5	2	27.4	44.0	16.6
下	26.7	26.5	0.2	15.6	16.6	1.0	20.7	21.1	0.4	45.0	73.5	28.5	2	5	3	72.4	47.1	25.3
上	26.5	27.2	0.7	15.7	18.1	2.4	21.0	22.3	1.3	17.0	45.8	28.8	2	4	2	70.2	45.8	24.4
8 中	24.9	26.7	1.8	14.6	16.7	2.1	19.7	21.3	1.6	37.5	37.4	0.1	1	3	2	48.0	54.4	6.4
下	22.6	25.0	2.4	13.6	15.3	1.7	17.6	19.8	2.2	25.0	56.6	31.6	4	5	1	46.1	48.0	1.9
上	27.0	23.5	3.5	15.5	13.5	2.0	20.6	18.1	2.5	46.5	59.1	12.6	4	5	1	66.5	48.0	18.5
9 中	24.4	21.3	3.1	9.6	11.2	1.6	16.6	16.1	0.5	3.0	54.2	51.2	1	5	4	77.1	45.2	31.9
下	17.3	19.2	1.9	6.7	8.0	1.3	11.8	13.2	1.4	40.0	41.4	1.4	6	5	1	40.4	50.1	9.7
上	15.7	16.9	1.2	6.2	6.5	0.3	10.7	11.2	0.5	43.5	38.3	5.2	6	5	1	39.5	42.9	3.4
10 中	17.4	14.7	2.7	5.7	3.9	1.8	11.0	9.0	2.0	16.5	33.7	17.2	3	6	3	50.5	43.6	6.9
下	12.0	11.8	0.2	2.4	2.5	0.1	7.1	6.9	0.2	33.0	33.9	0.9	7	6	1	30.8	36.7	5.9

1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

(1) 水 稲：良

事 由：出芽器使用による出芽の揃いは良好であった。出芽後から育苗期間前半にかけての好天により生育は良好であった。移植時の草丈は平年に比べ中苗がやや低く、成苗が高かった。主稈葉数はほぼ平年並で、地上部乾物重は平年を大きく上回った。移植後の数日、風が強い日が多く、苗の植え傷みが目立った。さらに、5月下旬の気温が低めに経過したため苗の活着はやや緩慢であり、分けつの発生は遅れた。

6月20日の主稈葉数は成苗「ななつぼし」が平年並、それ以外は平年に比べ0.2~0.4枚少なかった。㎡当たり茎数は成苗では平年並であったが、中苗「きらら397」では平年の75%に留まった。草丈は中苗、成苗とも平年よりやや低かった。

幼穂形成期は平年に比べ3~4日遅かった。その後、7月上旬は高温に推移したものの生育進度は回復せず、止葉期も平年より3~4日遅いままであった。

7月20日の主稈葉数はほぼ平年並であった。㎡当たり茎数は中苗が平年並に回復し、成苗は平年並を維持した。草丈は中苗が平年並に回復し、成苗は平年より4~7cm低かった。

出穂期は幼穂形成期と同様に平年に比べ3~4日遅かった。穂揃い日数は平年並であった。最終止葉葉数はほぼ平年並であった。

8月下旬の低温および稈実粒数の増加により登熟は遅れ、成熟期は「きらら397」が平年より10日程度、「ほしのゆめ」「ななつぼし」は8日遅れた。登熟日数は「きらら397」が平年より7日、「ほしのゆめ」「ななつぼし」は4日多かった。成熟期における稈長は平年並から3、4cmほど長かった。穂長は17cm前後で中苗が平年よりやや長く、成苗はほぼ平年並であった。㎡当たり穂数は中苗が平年より多く、成苗は平年並からやや多かった。

[籾数]：㎡当たり穂数は中苗が平年より多く、成苗は平年並からやや多かった。一穂籾数は「ななつぼし」が平年の92%で少なかったものの、それ以外は106~113%で多かった。その結果、㎡当たり籾数（㎡当たり穂数×一穂籾数）も「ななつぼし」が平年の97%に留まったものの、それ以外は107~124%で多かった。

[稈実歩合・稈実粒数]：稈実歩合は「きらら397」が平年に比べ3ポイント程度低く、「ほしのゆめ」はほぼ平年並、「ななつぼし」は平年に比べ4ポイント高かった。㎡当たり稈実粒数（㎡当たり籾数×稈実歩合）はいずれの品種も平年を上回り、平年対比で102~120%であった。

[登熟歩合・㎡当たり登熟粒数]：登熟歩合は「きらら397」が平年よりやや低かったが、「ほしのゆめ」は平年並、「ななつぼし」は平年よりやや高かった。㎡当たり登熟粒数（㎡当たり籾数×登熟歩合）はいずれの品種も平年を上回り、平年対比で104~115%であった。

[精玄米千粒重]：「きらら397」は平年並で、「ほしのゆめ」および「ななつぼし」はやや重かった。

[精玄米重]：粒厚1.90mm以上の収量はいずれの品種も10a当たり650kgを超え、平年対比で106~118%であった。

[検査等級]：「ほしのゆめ」が2等で、そのほかは1等であった。

以上、収量が平年を大幅に上回り、品種・苗をこみにした収量は平年対比114%であった。このため、本年の作況は「良」である。

表3 平成20年度 水稻の生育および収量

		品種・苗	きらら397・中苗		ほしのゆめ・成苗		きらら397・成苗		ななつぼし・成苗		
		年次	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
生育期節	播種期	(月・日)	4.16	4.16	4.14	4.13	4.14	4.13	4.14	4.13	
	移植期	(月・日)	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	5.19	
	幼穂形成期	(月・日)	7.04	6.30	6.28	6.24	6.30	6.26	6.27	6.24	
	止葉期	(月・日)	7.20	7.17	7.15	7.11	7.16	7.13	7.15	7.11	
	出穂期	(月・日)	7.31	7.27	7.27	7.23	7.28	7.25	7.28	7.24	
	穂揃日数	(日)	4	5	7	7	5	6	7	7	
	成熟期	(月・日)	9.27	9.16	9.14	9.06	9.22	9.12	9.18	9.10	
	登熟日数	(日)	58	51	49	45	56	49	52	48	
	生育日数	(日)	164	153	153	146	161	152	157	150	
苗生育	草丈	(cm)	10.9	11.6	14.5	11.7	13.7	11.5	14.4	11.9	
	葉数	(枚)	3.3	3.2	4.2	3.9	4.3	4.2	4.3	4.0	
	茎数	(本)	1.1	1.0	2.1	1.9	2.2	1.9	2.0	1.7	
	第1葉鞘高	(cm)	3.0	2.8	2.7	2.7	2.4	2.5	2.4	2.6	
	地上部乾物重	(g/100本)	2.81	2.34	5.52	3.74	5.7	3.90	5.89	4.00	
本田生育	主稈葉数止	6月10日	(枚)	6.1	6.3	6.5	6.5	6.9	7.0	6.8	6.8
		6月20日	(枚)	7.6	8.0	7.7	8.0	8.3	8.5	8.2	8.2
		6月30日	(枚)	9.0	9.3	8.9	9.1	9.3	9.8	9.3	9.4
		7月10日	(枚)	10.5	10.5	10.3	10.0	10.8	10.9	10.5	10.4
		7月20日	(枚)	11.2	11.1	10.3	10.2	11.2	11.2	10.9	10.5
		7月30日	(枚)	11.4	11.2	10.3	10.2	11.2	11.2	10.9	10.6
		止葉葉数	(枚)	11.4	11.2	10.3	10.2	11.2	11.2	10.9	10.6
	m ² 当たり茎数	6月10日	(本)	135	244	233	255	302	285	252	247
		6月20日	(本)	400	535	548	549	609	614	538	506
		6月30日	(本)	733	877	828	834	908	875	797	764
		7月10日	(本)	1027	951	1017	874	1076	906	921	773
		7月20日	(本)	887	868	868	814	820	821	761	758
		7月30日	(本)	812	785	811	768	752	762	719	696
草丈		6月10日	(cm)	21.4	22.9	26.3	26.3	24.6	24.9	25.8	27.3
	6月20日	(cm)	25.4	29.0	32.4	34.7	30.4	31.8	34.7	36.9	
	6月30日	(cm)	31.3	40.8	39.9	47.8	36.4	44.4	44.4	50.0	
	7月10日	(cm)	52.4	55.0	56.0	60.8	50.7	57.3	58.0	64.3	
	7月20日	(cm)	67.4	66.2	71.6	75.6	65.2	70.9	72.9	80.1	
	7月30日	(cm)	83.5	78.6	88.2	83.6	80.2	80.2	89.5	87.6	
	本田生育	稈長	(cm)	67.0	62.7	69.0	65.5	63.3	62.8	72.4	68.4
穂長		(cm)	17.2	16.6	16.5	16.1	16.7	16.9	17.3	17.1	
穂数		(本/m ²)	790	723	758	755	739	714	712	678	
有効茎歩合		(%)	76.9	76.0	74.5	86.4	68.7	78.8	77.3	87.7	
収量構成要素	一穂朶数	(粒)	49.7	43.9	45.1	42.4	45.8	42.4	46.7	50.6	
	m ² 当朶数	(×1000粒)	39.3	31.7	34.2	32.0	33.8	30.3	33.3	34.3	
	稔実歩合	(%)	89.5	92.3	93.8	92.3	89.2	91.8	95.7	91.4	
	m ² 当稔実朶数	(×1000粒)	35.2	29.3	32.1	29.5	30.1	27.8	31.9	31.4	
	登熟歩合	(%)	76.3	83.2	86.8	85.6	81.4	85.2	92.6	86.4	
	m ² 当登熟朶数	(×1000粒)	85.3	90.1	92.5	92.7	91.3	92.8	96.8	94.5	
	精玄米千粒重	(g)	22.8	22.6	22.3	21.9	22.7	22.8	22.5	21.9	
	朶摺歩合	(%)	74.9	79.2	75.3	78.0	75.6	79.7	77.9	80.6	
	屑米歩合	(%)	5.2	3.1	6.1	4.5	4.8	2.7	3.4	2.4	
収量	藁重	(kg/10a)	712	684	644	662	637	636	696	694	
	精朶重	(kg/10a)	943	758	865	710	890	742	846	769	
	朶藁比	(%)	132	111	134	107	140	117	122	111	
	精玄米重	(kg/10a)	706	601	651	554	673	591	659	620	
	収量比	(%)	117	-	118	-	114	-	106	-	
	検査等級	(等)	1	1	2	1下	1	1	1	1下	

注1) 平年値:平成14、16、17、18、19年の5か年の平均。

2) 千粒重・精玄米重:粒厚1.90mm以上、水分15.0%に換算。

(2) 秋まき小麦 : 良

事 由：播種期は平年より5日遅い9月12日であった。出芽率は約85%とやや低かった。越冬前の草丈は低く、茎数が少なく、葉数はやや少なかった。根雪始は平年より9日早かったが、根雪終は平年より12日早く、積雪期間は137日であり平年より3日短かった。雪腐病発病度は少なく、越冬茎歩合は平年より高かった。雪腐病の菌種は主に雪腐褐色小粒菌核病と紅色雪腐病であった。5月20日の調査では草丈が平年より高く、茎数はやや少なかったが、6月に入り高温湿潤に推移し、6月20日調査の草丈、茎数は平年を上まわった。出穂期は平年より7日早い6月3日、成熟期が4日早い7月14日であった。成熟期における稈長は平年よりやや長く、穂数は平年より105本/m²多かった。総重は平年を上回り、千粒重が平年より重かったため、子実重は平年比110%と多収になった。リットル重は平年よりやや重く、検査等級は優れた。

したがって、本年の作況は良である。

表4 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		ホ ク シ ン		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	9.12	9.7	5
出穂期	(月日)	6.3	6.10	7
成熟期	(月日)	7.14	7.18	4
越冬茎歩合	(%)	113.1	90.4	22.7
雪腐病発病度		11.0	37.1	26.1
葉数 (枚)	H19.10.20	5.4	5.9	0.5
草 丈 (cm)	H19.10.20	18.1	32.2	14.1
	H20.5.20	56.7	37.8	18.9
	H20.6.20	100.6	90.6	10.0
茎 数 (本/ m ²)	H19.10.20	1005	1706	701
	H20.5.20	1018	1183	165
	H20.6.20	784	695	89
成 熟 期	稈 長 (cm)	89	83	6
	穂 長 (cm)	8.3	8.6	0.3
	穂 数(本/m ²)	756	651	105
総 重	(kg/10a)	1772	1490	282
子実重	(kg/10a)	713	649	64
同上	平年比 (%)	110	100	10
リットル重	(g)	795	784	11
千粒重	(g)	46.8	37.0	9.8
検査等級	(等)	1	2中	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

(3)大豆：平年並

事由：播種期は5月21日で平年より2日遅く、出芽期も平年より1～2日遅かった。出芽揃は良好であった。6月中旬以降、気温が低く経過したため、生育はやや停滞した。7月上旬は気温が高く経過したため、生育は回復傾向にあったが、開花期は平年より2～3日遅れた。開花期後の7月中旬は降水量が多く日照時間も平年より少なかったことから、徒長気味の生育となり、倒伏も多くみられた。9月上～中旬は気温が平年より高く経過したが、成熟期は「トヨムスメ」で6日、「トヨコマチ」、「ユキホマレ」で3日平年より遅れた。主茎長は平年を上回り、主茎節数は平年並、分枝数は平年をやや上回った。着莢数は平年並かやや上回り、子実重は「トヨムスメ」は平年より優り、「トヨコマチ」、「ユキホマレ」はほぼ平年並であった。百粒重は平年並かやや下回った。屑豆率は、平年よりやや低かった。検査等級は「トヨムスメ」、「トヨコマチ」はほぼ平年並、「ユキホマレ」は平年より優った。

したがって、本年の作況は平年並である。

表5 大豆の生育および収量

品 種 名		ト ヨ ム ス メ			ト ヨ コ マ チ			ユ キ ホ マ レ		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.21	5.19	2	5.21	5.19	2	5.21	5.19	2
出芽期	(月日)	6.4	6.2	2	6.3	6.2	1	6.4	6.2	2
開花期	(月日)	7.14	7.11	3	7.11	7.9	2	7.12	7.10	2
成熟期	(月日)	10.3	9.27	6	9.23	9.20	3	9.23	9.20	3
主茎長 (cm)	6月20日	10.1	12.9	2.8	11.6	15.1	3.5	10.7	15.4	4.7
	7月20日	57.0	54.2	2.8	68.3	59.1	9.2	64.9	59.6	5.3
	8月20日	68.0	59.1	8.9	73.6	61.6	12.0	72.1	63.5	8.6
	9月20日	68.9	58.4	10.5	73.4	61.3	12.1	74.6	62.6	12.0
	成熟期	69.3	58.5	10.8	73.4	61.7	11.7	74.6	62.7	11.9
主茎 節数 (節)	6月20日	4.2	3.9	0.3	4.8	4.5	0.3	4.6	4.4	0.2
	7月20日	9.0	9.6	0.6	10.3	10.7	0.4	9.6	10.6	1.0
	8月20日	10.1	9.9	0.2	10.6	10.8	0.2	9.8	10.9	1.1
	9月20日	10.3	9.9	0.4	10.8	10.8	0	10.6	10.7	0.1
	成熟期	10.3	10.0	0.3	10.8	10.8	0	10.6	10.8	0.2
分枝数 (本 /株)	7月20日	7.0	7.0	0	7.4	6.8	0.6	5.6	6.2	0.6
	8月20日	9.4	7.7	1.7	8.9	7.1	1.8	7.1	6.7	0.4
	9月20日	8.7	6.9	1.8	8.4	6.6	1.8	6.2	6.1	0.1
	成熟期	8.4	7.0	1.4	8.4	6.7	1.7	6.2	6.2	0
着莢数 (個)	8月20日	86	80	6	97	75	22	90	86	4
	9月20日	83	72	11	80	71	9	79	79	0
	成熟期	73	74	1	80	71	9	79	79	0
子実重	(kg/10a)	487	442	45	430	417	13	439	435	4
同上	平年比 (%)	110	100	10	103	100	3	101	100	1
百粒重	(g)	38.0	40.0	2.0	37.2	37.8	0.6	39.2	38.2	1.0
屑豆率	(%)	0.8	1.8	1.0	0.7	1.6	0.9	0.7	2.7	2.0
検査等級	(等)	3上	3下	-	3上	3上	-	1	2下	-

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、18年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

(4) 小 豆 : 良

事 由：播種期は5月26日で平年より3日遅かった。播種後、5月下旬がきわめて低温に経過したため、出芽期は平年より4日遅い6月10日であった。出芽後、6月中旬は低温寡照に経過し、初期生育は停滞したが、7月上旬以降、気温は平年並～高く推移したため、生育はやや回復した。開花期は平年並であった。登熟期間である7月下旬～8月上旬は、適度な降雨があり、また日照時間も多かったため、生育はさらに回復し、以降は順調な生育となった。成熟期は平年並の9月6日であった。主茎長は、「エリモショウズ」で平年並、「しゅまり」で平年よりやや長かった。分枝数はやや少なかった。着莢数は平年を下回ったものの、百粒重は平年よりやや重く、子実重は、「エリモショウズ」で平年比104%、「しゅまり」で同115%と多収であった。屑豆率は平年よりやや低く、検査等級は平年より優った。したがって、本年の作況は良である。

表6 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモショウズ			しゅまり		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.26	5.23	3	5.26	5.23	3
出芽期	(月日)	6.10	6.6	4	6.10	6.6	4
開花期	(月日)	7.22	7.21	1	7.21	7.22	1
成熟期	(月日)	9.6	9.6	0	9.6	9.7	1
主茎長 (cm)	6月20日	3.2	4.7	1.5	3.9	5.9	2.0
	7月20日	20.8	25.5	4.7	23.4	25.9	2.5
	8月20日	53.2	60.1	6.9	68.3	62.8	5.5
	成熟期	60	62	2	68	63	5
本葉数 (枚)	6月20日	0.5	1.3	0.8	0.5	1.4	0.9
	7月20日	8.0	8.2	0.2	8.1	7.9	0.2
	8月20日	12.2	12.4	0.2	11.9	11.9	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	2.8	4.7	1.9	3.3	4.8	1.5
	8月20日	3.6	5.6	2.0	4.2	5.7	1.5
	成熟期	3.3	4.8	1.5	3.6	5.1	1.5
着莢数 (個)	成熟期	49	54	5	45	51	6
子実重 (kg/10a)		381	366	15	381	330	51
同上平年比 (%)		104	100	4	115	100	15
百粒重 (g)		13.5	12.8	0.7	13.3	12.4	0.9
屑粒率 (%)		0.6	1.3	0.7	0.9	1.7	0.8
検査等級 (等)		2上	3中	-	2上	3中	-

注1) 本年から「サホロショウズ」の報告を中止し、新たに「しゅまり」の作況報告を実施する。

2) 平年値は、前7か年中、平成15年、平成16年を除く5か年の平均値。

3) は平年より早、 は平年より減を示す。

(5) ばれいしょ : 平年並

事由: 植付期は5月13日で平年より6日遅かった。その後の気温は平年よりやや高く経過したため、植付から萌芽までの日数は平年より短く、萌芽期は平年より1日遅い5月26日であった。萌芽期直後は低温に経過したが、その後7月中旬までは、気温が一部を除き平年並かやや高かったため、生育は順調であった。開花始は平年並であった。7月下旬から8月中旬は低温傾向であったため、枯凋が急速に進み、枯凋期は平年より7日早い8月24日であった。株当たり上いも数は平年並、上いも平均一個重は平年よりやや軽く、上いも収量および中以上いも収量は平年を下回った。しかし規格内収量は、平成14～19年の平均規格内収量(参考値)と同等であった。また、でん粉価は平年より2.0%高かった。

したがって、本年の作況は平年並である。

表7 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男 爵 薯		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
植付期	(月日)	5.13	5.7	6
萌芽期	(月日)	5.26	5.25	1
開花始	(月日)	6.23	6.23	0
枯凋期	(月日)	8.24	8.31	7
茎 長 (cm)	6月20日	36.3	32.5	3.8
	7月20日	47.4	45.6	1.8
上いも数 (個/株)	7月20日	11.2	9.3	1.9
	8月20日	13.9	11.1	2.8
上いも平均 一個重(g)	7月20日	69	72	3
	8月20日	84	101	17
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	3413	2956	457
	8月20日	5167	4875	292
でんぷん価 (%)	7月20日	12.9	13.3	0.4
	8月20日	15.8	14.3	1.5
収 穫 期	上いも数(個/株)	12.3	12.1	0.2
	上いも平均一個重(g)	89	95	6
	上いも収量(kg/10a)	4843	5070	227
	中以上いも収量(kg/10a)	4083	4341	258
	規格内収量(kg/10a)	4007	(4010)	3
	でん粉価(%)	16.4	14.4	2.0
対平年比	上いも収量	96	100	4
	中以上いも収量	94	100	6
	規格内収量	100	100	0

注1) 平年値は、前7か年中、平成16年、19年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、は平年より減を示す。

3) 規格内収量は、生食用規格内(M～2L、60～260g/個)の収量で、平年値は平成14～19年の6か年平均であり、参考値である。